

脳卒中センター

Stroke Center

開設予定

より高度で質の高い急性期治療の提供を目的とし脳卒中センターを開設予定です

この度、当院が日本脳卒中学会より 一次脳卒中センターとして認定されました。

・脳卒中について

脳卒中とは、急性期脳血管障害のことを指し、突然脳の血管が詰まったり、破れたりして引き起こされる病気の総称です。脳の血管が詰まって血が通わなくなり、脳の一部が死んでしまうものを脳梗塞といいます。脳の血管が破れて出血するものうち、脳の内部にある血管から出血して脳が壊されるものを脳出血(脳内出血)、脳の表面にある血管(動脈瘤)から出血して脳表が血液で覆われてしまう疾患をくも膜下出血といいます。

脳卒中は日本における死因の第4位であり、国民病の一つと言えます。発症から治療までにかかる時間が非常に重要である脳卒中治療には、迅速な診療体制が求められます。



・脳卒中センターとは

「脳卒中センター」とは、地域の医療機関や救急隊からの要請に対して、24時間365日脳卒中患者を受け入れ、急性期脳卒中診療担当医師が、患者搬入後可及的速やかに診療(t-PA静注療法を含む)を開始できる施設です。

一般社団法人日本脳卒中学会の認定要件をクリアした病院が「脳卒中センター」の認定を受けられます。認定要件は下記の通りです。

- (1) 地域医療機関や救急隊からの要請に対して、24時間365日脳卒中患者を受け入れ、急性期脳卒中診療担当医師が、患者搬入後可及的速やかに診療(rt-PA静注療法を含む)を開始できる。
※rt-PA(血栓溶解療法)とは?
詰まった血栓を薬で溶かす治療方法です。脳梗塞を起こしてから4.5時間以内の患者さんに行うことができます。
- (2) 頭部CTまたはMRI検査、一般血液検査と凝固学的検査、心電図検査が施行可能である。
- (3) 脳卒中ユニット(SU)を^(注1)有する。
- (4) 脳卒中診療に従事する医師(専従でなくてもよい、前期研修医を除く)が24H/7D体制で勤務している。
- (5) 脳卒中専門医1名以上の常勤医がいる^(注2)。
- (6) 脳神経外科的処置が必要な場合、迅速に脳神経外科医が対応できる体制がある。
- (7) 機械的血栓回収療法が実施出来ることが望ましい。実施できない場合には、血栓回収脳卒中センターや包括的脳卒中センターとの間で、機械的血栓回収療法の適応となる患者の緊急転送に関する手順書を有する。
- (8) 定期的な臨床指標取得による脳卒中医療の質^(注3)をコントロールする。

注1) 脳卒中ユニット(SU)とは、「多職種からなる専属の脳卒中チームが配属され、急性期と明確に分離された脳卒中患者専用の病棟(または病床)」と定義する。診療報酬上の脳卒中ケアユニット(SCU)は脳卒中ユニット(SU)に含まれる。

注2) 暫定期間を設け、脳卒中専門医を rt-PA 講習受講後の脳神経外科専門医もしくは神経内科専門医で代行可能とする。

注3) rt-PA 静注療法施行例と機械的血栓回収療法施行例のデータ(症例数と3ヵ月後のmRS) 提出

当院では、これまでも24時間365日体制で脳卒中診療を行っており、体制作りを進めてまいりました。現在、認定要件に該当する脳神経外科専門医5名(うち指導医3名含む)、脳神経血管内治療専門医・指導医3名が在籍しております。また、多くの救急症例の受け入れに対応し、t-PA静注療法、機械的血栓回収療法(脳血管内手術)を積極的に行ってまいりました。現在、開設に向け更なる準備を進めております。

詳細が決定次第、広報誌・HPにてご案内させていただきます。今後とも、流山中央病院をよろしくお願い申し上げます。

2020年1月4日発行
発行元 医療法人社団曙会

流山中央病院 広報

発行所 〒270-0114 千葉県流山市東初石2-132-2
電話 04-7154-5741 E-mail : pr@nch.or.jp
HP https://www.nch.or.jp



流山中央病院

〔季刊〕
Vol.17

Jan/2020

通信

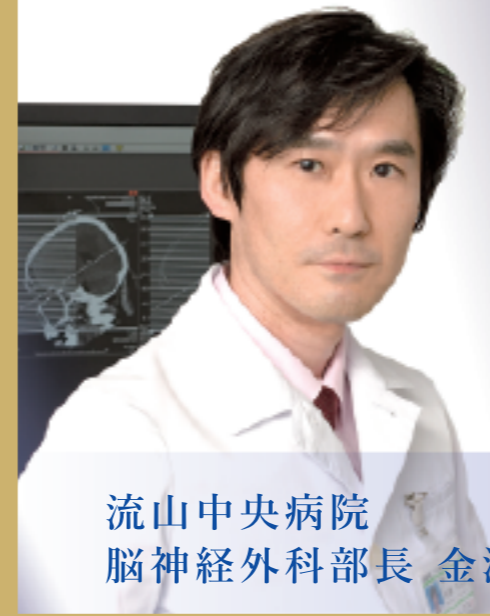
発行

流山中央病院 千葉県流山市東初石 2-132-2
TEL.04-7154-5741 E-mail pr@nch.or.jp

No. 9

脳外コラム

NCH Neurosurgery



流山中央病院
脳神経外科部長 金澤 隆三郎

新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくごお願い申し上げます。

今年、脳神経外科の病棟が改築に伴い移動致します。1月から3月まで現在の回復期リハビリテーション病棟は閉鎖し改築を行い、4月からそこが脳神経外科病棟として稼働することとなります。SCU(脳卒中ケアユニット)が現在の3床から6床となり、より広いスペースを確保して患者さんの診療にあたるできるようになります。

脳卒中の治療が脳梗塞急性期において大きく変遷を来している中、センター化という作業が現在全国レベルで検討されています。特に心原性塞栓症(心臓から血栓が飛んで脳梗塞となる疾患)は診断、治療において適正な器械、器材、経験のある医師または医療スタッフが総合的に必要となるため、ある程度集中化する方がベターという考え方です。特に器材に関しては日進月歩の側面が強く、それらを使いこなせないと安全な治療につながらない、ということはおそらく正しいと思われまので、一定の条件をクリアすることは必須であり、それが患者さんへ寄与することに繋がるものと思います。

脳梗塞だけではなく、脳卒中にはくも膜下出血や脳出血など、いわゆる「脳溢血」も含まれており、これらを広く総合的に見ることの出来るレベルが必要です。それらに対応すべく、我々も努力、精進を継続してゆく必要性を強く感じております。

多くの患者さんへ寄与できるよう、謙虚な姿勢で引き続き臨んで参りたいと考えております。

・SCU(脳卒中ケアユニット)とは?

脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)急性期の患者さんに対し、発症早期から24時間体制で専門医療スタッフがチームで集中的・専門治療を行う病床です。

一 誌面のご案内



裏面 脳卒中センターのご案内



中面

泉リハビリテーション病院 院長挨拶 ご案内
ICT(感染制御チーム)からお知らせ

✈ おでかけ後の体調不良に注意！！

🚢 ~ 流山中央病院 感染制御チーム (ICT) より ~ 🚗

長期休暇中は国内・海外に旅行に行かれる方も多いかと思いますが、感染症の流行状況とは関係なくいつのまにか感染症にうつってしまうこともあるかもしれません。遠方や長期旅行から戻った後に**以下の症状**が出現したら、**病院へまずは相談の電話をしましょう！！**

注意ポイント



こんな症状は要注意！！

迷ったときは電話相談しましょう
TEL 04-7154-5741

- 1 外出から戻ってきた後の1ヶ月以内の**発熱**
- 2 外出から戻ってきた後の1ヶ月以内の**発疹**
- 3 外出から戻ってきた後の1ヶ月以内の**目の充血**

Q. なぜ、事前の電話相談が必要なの？

A. 患者様が安心して待合頂く場所を、病院で検討させて頂くためです



事前にお電話できない場合は、ご来院の際に正面玄関入口前インターホンを押して職員が出てくるのをお待ちください。
※必ずマスクを着用して、ご来院ください。



正面入口インターフォン

症状のある方はこちらを押してください。

流山中央病院では ご入院中の患者様・ご来院される皆様が安心して院内でお過ごしいただける環境づくりを目指しております

各館掲示ポスター

インフルエンザに『マ・ケ・ナ・イ！』

手指消毒方法

外来診察室前他各館に貼っております

ご面会時の手指消毒にもご協力くださり有難うございます

❄ 体調管理に気を付けて冬を乗り越えましょう！ ❄



医療法人社団曙会 流山中央病院附属
泉リハビリテーション病院

IZUMI REHABILITATION HOSPITAL



新年あけましておめでとうございます

泉リハビリテーション病院は昨年9月に開院致しました。その節は多くの方々にご支援、ご協力を賜りましたことを感謝申し上げます。また、新年より70床全ベッドがフルオープンとなり、より多くの患者様をお受けすることが可能となりました。スタッフも増え、ソフト面での充実を図り、満足いただけるようリハビリ医療の提供を目指して行きたいと思っております。患者様、ご家族の皆様ならびに地域の皆様方に信頼いただける病院となるよう、職員一同、日々精進してまいります。

泉リハビリテーション病院
院長 加藤 泉



泉リハビリテーション病院 リハビリ機器・設備のご紹介

患者様の状態に合わせ 最新のリハビリ機器を用い 多彩なりハビリテーションを提供いたします

コアフレーム (免荷歩行装置)

脳卒中や脊髄損傷で麻痺が生じると、歩くことは難しく恐怖心を伴います。ハーネスを使用し体重を支えることで安全を確保しつつ恐怖心を軽減します。早期の歩行訓練の導入により歩行獲得の可能性が広がります。



IVES (筋電バイオフィードバック療法)

麻痺した手を動かしたいという意思を筋肉の電気刺激として読み取り増幅することで実際に手を動かすことができる装置です。それを繰り返すことで脳からの電気刺激自体が増幅され麻痺の改善が期待できます。



バイタルスティム (電気療法&筋電バイオフィードバック療法)

低周波の電気刺激によって必要な筋肉を鍛え、嚥下機能の改善を目的とする機器です。筋電図が表示されることにより、目標とする筋肉を正しく使えているか、どのくらい筋力が発揮できているかが一目でわかります。



ドライビングシミュレーター

脳卒中後の運転再開の検査・練習が行えます。ハンドル・アクセル・ブレーキの操作だけでなく注意力や判断力など運転に必要な要素を総合的に評価します。



お問い合わせ先

医療法人社団曙会 流山中央病院附属 泉リハビリテーション病院
電話番号：04-7186-7560 FAX：04-7186-7580メールアドレス：irh_info@nch.or.jp

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

2019年は令和という新しい時代の到来とともに、流山中央病院開業41周年、流山中央病院附属 泉リハビリテーション病院開業を同時に迎えた記念すべき一年でありました。

そして、2020年は流山中央病院 脳神経外科病棟の改築・移動を実施いたします。この改築・移動によって、SCU(脳卒中ケアユニット)が3床から6床へ増床となります。より一層の医療環境の充実化を図り、より安全で高度な医療の提供を目指してまいります。

古来より2020年干支のねずみ(子)には子孫繁栄の意味があるとされています。本年も皆様方の更なる繁栄・発展の為に、地域の中核病院として健康をお支えできるよう、職員一同一丸となって日々の業務に邁進していく所存であります。

今後とも、ご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



医療法人社団 曙会
流山中央病院

医療法人社団曙会 流山中央病院附属
泉リハビリテーション病院

理事長 国吉昇